

北海道の道の駅について、令和3年(2021)7月まで北海道庁国際局国際課で国際交流員を務めたマレイナ・マコヘニー交流員をご紹介します。

北海道の道の駅:車旅のオアシス

北海道の夏といえば、みずみずしいスイカやメロンを思い浮かべるかもしれません。あるいは、緑豊かな自然に冒険心をくすぐられたり、どこまでも続く広い道が、自分を待っていてくれるような気持ちになる方もいるでしょう。#HokkaidoLove

運転が大好きな人だけでなく、たまに運転する人も、道路脇の「道の駅」と書かれた看板を見たことがあると思います。実際に立ち寄ったことがある人もいるかもしれません。そもそも、「道の駅」とは何でしょう。そして、なぜ道の駅が北海道のいたるところにあるのでしょうか。

道の駅は英語で「Roadside Station」と訳されていますが、国によってその言葉の持つ意味は様々です。元JETで、道の駅好きのカトリーナ・カイラさんが、北海道の道の駅について説明してくれましたので、ご紹介します。

「道の駅」の直訳は、「station of the road」または「roadside station」になります。一部の外国人は、すぐにイメージができると思います。特に、カナダ人やアメリカ人には、高速道路にある休憩所やウエルカムセンターのような場所を思い浮かべると思いますが、多くの道の駅が、基本的にこれらと同様のサービスを提供しています。全ての道の駅には、誰でも無料で使える24時間トイレや駐車場があります。これらのサービスのおかげで、道の駅は長距離ドライブに最適の場所で、なおかつ、このような道の駅は、日本全国にあります！道の駅には、たいいてい物販店やレストランがあります。そこでは、地元の特産品やお土産が販売されています。地元の名物品は、必ず道の駅で売られています。また、多くの道の駅には観光情報カウンターがあります。ほとんどが日本語ですが、周辺にどのような観光名所があるか知ることができます。道の駅には、たいいてい、テーブルや椅子がある休憩スペースや、公園やピクニックエリアがあります。こういった特徴から、道の駅は、車などで旅行する際に立ち寄ることのできる素晴らしい場所です。

しかし、道の駅の中には、その場所自体が旅の目的地となっている所もありますが、それはなぜでしょう。簡単に言うと、道の駅周辺には、たいいてい見たり、楽しんだりできる場所があるからです。自然保護区、水族館、博物館、国立公園や遊園地などが近くにある道の駅がたくさんあります。それから、道の駅のスタンプを集めることもできます。公式のスタンプブックに、5つのスタンプを集めると、小さな賞品のくじ引きに参加できますが、1年間でもっとスタンプを集めると、さらに高価な賞品をもらえるかもしれません。2年以内に全ての道の駅のスタンプを集めることができたなら、かっこいい制覇証明書やシールをもらうことができます。私は道の駅が大好きで、スタンプラリーは面白い挑戦だと思います。



現在、北海道内には126の道の駅があります。上でも書いたように、毎年スタンプラリーが行われています。参加者は、いずれかの道の駅でスタンプブックを購入し、道の駅に立ち寄るたびに、各道の駅オリジナルのスタンプを、台帳の該当するページに押すだけです。一部の人のために、道の駅スタンプラリーは、外に出て、北海道を探検できる毎年恒例のイベントです。



写真で巡る道の駅: よってけ! 島牧、みなとま〜れ寿都、とようら、サンフラワー北竜



日本人も、北海道に住んでいる外国人も、道の駅やスタンプラリーを楽しんでいます。現在JETのChris Mahmoodさんが、道の駅やそれらをつなぐ道について、次の文章を送ってくれました。



「私にとって、道の駅は、外に探検に出かけるための最高の言い訳です。今年は、出かけて、もっと北海道を見て回りたいのですが、北海道はまさにでっかい道ですね。各地の特色や名所を入念に調べるのは気が遠くなる作業です。道の駅は、その地域の情報がいっぱいな上、道の駅自体がその地方一番の目的地だったりする場合も多いです。道の駅で、地元の名物を食べたり、最高のお土産を買ったりすることができます。中には、水族館や温泉がある道の駅まであります！

今年は、私もスタンプラリーに参加しています。「道の駅スタンプラリーに挑戦している」と言うと、自分が勤める学校での会話が弾みます。同僚の先生たちはいつも、お勧めのレストラン、観光地、隠れた魅力などを教えてくれますし、生徒たちは、私の冒険話を喜んで聞いてくれます。それから、スタンプラリーに参加することで、道内各地のALT、特に、しばらく会っていなかった人たちとつながることができます。

これまで約40の道の駅を巡った中で私の一番のお気に入りには、北見市から約20分離れた場所にある「温根湯温泉」です。素晴らしい温泉がある上に、小さくて可愛い水族館、鳩時計塔や、タヌキやキツネがのんびり過ごしている姿が見られる「きつね公園」もあります。」

北海道の道路はきれいで、夏の降り注ぐ太陽も長く楽しむことができますから、できることがいっぱいありますよ。運転する人にとって(車以外の乗物を運転する方も！前回道の駅に立ち寄った時、自転車やバイクで来ている人たちを見かけました)、道の駅のおかげで、ソーシャルディスタンスを保ち、かつ、公共交通機関の利用を避けながら、旅行に出かけ、各地の魅力を体験したりすることができます。ですから、マスクを忘れずに、出かけましょう！道の駅までの道のりで、どんな発見があるでしょう？





北 海道にはアメリカ、カナダ、シンガポール、中国、韓国、ドイツ、フランス、ロシアなどから約300人のJETプログラム参加者(外国語指導助手、国際交流員、スポーツ国際交流員)がいます。赤れんが通信では、こうした様々な国々からやって来た皆さんのストーリーを伝えていきます。



Meet Shantell!

「自分のすること・しないことや信じること・信じないことを選ぶのは、あなたの権利です。自分の人生を築き、自分の視点を持つことは、あなたの権利です。」私は、自己紹介をどのように始めるかを20分くらい考えて、レディー・ガガの言葉から始めようと決めました。この言葉で、自分が来日した理由やまだ日本に残っている理由を簡単に説明できる気がします。でも、そのお話をする前に、自己紹介を少ししたいと思います。私は日本最北の村、猿払村在住のJETプログラム4年目のシャンテルです。9月に25歳になりました。日本で誕生日を迎えるのは5回目です！東アジア経済と宗教学の学士号を持っています。交換留学生として、大阪で1年半過ごしたので、日本に戻りたいという気持ちが強かったです！



北海道で一番好きな食べものは何でしょうか。

難しい質問ですね！まず、冗談半分に自分を「北海道の認定食通」だと呼ばせてください。これまで、道内各地でたくさんの素晴らしい料理と出会いました。食べたいものがある場所への旅を計画することもしばしば... 中でも、北海道に来て、一番おいしかった料理は、札幌で食べたものです。私が頂いたのは12品のコース料理で、宗谷産の牛肉からフレンチチャルロットまで、地元や輸入食材が使われていました。メニューは季節ごと変わりますので、少なくとも年2回のペースで、新しい味を楽しんでいます。レストランの名前は、「鉄板ステーキレストラン YANAGI」です。値段は高めですが、個人的には、それだけの価値があると思います！

北海道の夏の楽しみは何ですか。

また食物の話になって申し訳ないのですが... BBQです。私は、屋外で過ごすのがとても好きですが、北海道の美しい夏のピクニックやBBQより素晴らしいものはないと思います。よく、ALTの友人、日本人の同僚や友人を誘って、一緒に食事をします。アメリカにいた頃は、楽しい「ダーディー(Dardy)」(デイパーティー(Day Party)のこと)をよく開催していました。日本でもそのような文化が広まったらすごくいいと思います。自分でBBQを開催しない時は、車でドライブに出かけるか、ロングボードに乗って町を散策しています。屋外で過ごす時間はとても大切にしています。私は冬のスポーツの才能が全くありませんので、夏の間は、できるだけアクティブに過ごすようにしています。

なぜ北海道(日本)へ来たのですか。

自己紹介の欄でも触れましたが、留学生として大阪府の枚方市に住んだことがあります。最初の半年は、ホストファミリーのところで暮らし、その後、留学生たちが住む国際寮に移りました。しかし、交換留学で来日する前に、文化イマージョン・プログラムに参加し、大学で日本の文化と宗教について学びました。そのプログラムのおかげで、自分は、日本の文化、特に宗教が好きだと気がつきました。神社やお寺に魅了され、日本の神様や神話を学ぶことが大好きです。大阪に住んでいた時に、美しいデザインや建築を見にたくさんの神社を訪れました。残念ながら今住んでいるところには、神社やお寺がありませんが、時々参拝に行っています。

日本に来る前に、知りたかったことはありますか。

一つだけですか？一つだけ選ぶとしたら、運転したような車を最初から買った方が良いということです。北海道に住む場合、特に北に行けば行くほど、生活する上で、車の重要性が増します。私は、とても安い車を購入しました。理由は、他の人が私のことを想って言ってくれた意見を聞きすぎたこと、それから、JETプログラムの満了期間上限の5年もないかもしれないし、途中で帰国するかもしれないなら、一年で支払いが終わる車を買おうと思ったからです。しかし、もし5年いるつもりなら、値段が高くて、自分の好きな車でドライブが楽しくなるようなものを買った方がいいと思います。

